

NEWS RELEASE



【報道関係各位】

2016年 12月 13日
一般財団法人 日本気象協会

日本気象協会 年末年始の天気傾向を発表 ～ 年末年始は、太平洋側で過ごしやすい日が多い ～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、年末年始〔2016年12月29日（木）頃から2017年1月3日（火）頃〕の天気傾向に関する情報を発表します。

◇年末年始（12月29日頃～1月3日頃）の天気傾向

- 太平洋側の地域は、晴れて気温も高く、過ごしやすい日が多い見込み
- 日本海側の地域は雪や雨の日が多いが、荒れた天気になる可能性は小さい
- 奄美・沖縄は曇りや雨の日が続く見込み

2016年12月13日 発表



年末年始※の天気傾向



	天 気 傾 向	コ メ ン ト
北海道～九州の 日本海側		<ul style="list-style-type: none">● 雪や雨の日が多いが、大雪の可能性は小さい● 気温は平年並みで、北陸以北で冬らしい寒さに
北海道～九州の 太平洋側		<ul style="list-style-type: none">● 穏やかに晴れる日が多い見込み● 気温は平年並みが高く、過ごしやすい日が続くそう
奄美・沖縄 (南西諸島)		<ul style="list-style-type: none">● 曇りや雨の日が多い● 気温は平年並みか高い見込み

※ 年末年始：2016年12月29日頃～2017年1月3日頃

年末年始（12月29日頃～1月3日頃）の日本付近は、冬型の気圧配置となる日が多い見込みです。ただし、寒気の南下が弱く、かつ長続きしない予想となっています。

このため、北海道から九州の太平洋側は、関東以西を中心に穏やかに晴れる日が多い見込みです。気温も平年並みか高い日が多く、過ごしやすい年末年始となるでしょう。冬型が緩むタイミングで曇りや雨となる日もありますが、東京都心など平地で雪が降ることはない見込みです。

北海道から九州の日本海側は、雪や雨の降る日が多いですが、大雪や猛ふぶきなどの荒れた天気になる可能性は小さいでしょう。雪の降る日でも、帰省やUターンへの影響は小さい見込みです。近畿以西は、平地は雪でなく雨の日が多くなりそうです。

また、奄美・沖縄は曇りや雨の日が多いですが、気温は平年並みか高く経過するでしょう。



【各地域の天候のポイント】

◇北海道～九州の日本海側

- ・雪や雨の降る日が多いが、大雪や猛ふぶきなどの可能性は小さい
- ・気温は、北海道から北陸は平年並み。近畿から九州は平年並みかやや高く、平地では雨の日が多くなりそう

◇北海道～九州の太平洋側

- ・穏やかに晴れて、過ごしやすい年末年始となる見込み
- ・気温は、関東以西を中心に平年並みか高いところが多い
- ・初詣など年末年始のお出かけがしやすい日が多くなりそう

◇奄美・沖縄（南西諸島）

- ・曇りや雨の日が多く、ぐずついた天気となりそう
- ・気温は、平年並みか高い見込み

なお12月27日（火）には、最新の10日間予報を元にした、各地の年末年始の詳細な天気に関する情報を発表する予定です。

本情報は2016年12月13日時点の予測資料から作成したものです。最新の気象情報は日本気象協会の天気予報専門サイト「[tenki.jp](http://www.tenki.jp)」<http://www.tenki.jp/>でご確認ください。

以 上